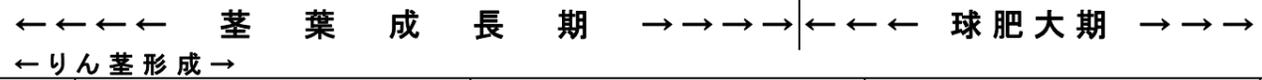


にんにくの作り方

株式会社佐藤政行種苗

生育



月別	9月		10月			11月	10月下旬~3月中旬	3月	4月			5月			6月			7月		
	中	下	上	中	下	上		下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下

作型

主要作業 (東北基準)

作業内容

(植付け)

畑の準備	(東北・北陸)	(関東・東海地方)	(関西以南)	収穫	乾燥
------	---------	-----------	--------	----	----

●種球準備	●堆肥・基肥散布	●マルチ張り	●種子消毒	●植え付け	●畦間除草剤散布	●マルチ穴より葉出し	●冬季間	●マルチ上に追肥	●マルチ直し・土寄せ	●春腐れ病防除	●マルチ上に追肥	●畦間除草剤散布	●殺虫剤散布	●春腐れ病防除	●葉枯病・黄斑病防除	●さび病防除	●葉枯病・黄斑病防除	●殺虫剤散布	●さび病防除	●葉枯病・黄斑病防除	●収穫	●乾燥
-------	----------	--------	-------	-------	----------	------------	------	----------	------------	---------	----------	----------	--------	---------	------------	--------	------------	--------	--------	------------	-----	-----

★収穫★
●葉先の3分の1が黄化した頃を目安に収穫します、又は試し掘りをして、球のお尻が平らになったら収穫します。掘遅れは、裂球や着色の原因になり品質が低下します。

★乾燥★
●自然乾燥では、根を切って10球程度を1束にして、風通しの良い軒先か納屋等で雨や直射日光を当てずに、40日程度陰干しします。

種球

- 品種はニューホワイト六片を使用。
- L玉の形の良い6片球から種球を選び、一片重が10g~15g程度の物を使用。形の悪いもの、柔らかいものは使用しない。
- 種球は1a=25kg~30kg用意する。
- イモグサレセンチュウに汚染された種球は使用しない。

畑の準備

- 極端に乾燥しない畑を選ぶ。排水良好で保水性のある畑を選ぶ。ねぎ・たまねぎの後作は避ける。土壌pHは6.0~6.5が最適。

施肥

- 基肥として、1a当たりの施肥量は、成分量で窒素2.0kg・リン酸3.0kg・カリ2.0kgとします。堆肥は完熟したものを使用し、1a当たりの投入量は400kgとします。土壌改良の為、若土を20kg投入する。
- 酸性が強い土壌は消石灰などで、矯正してください。
- 追肥は、ホカシ万次郎を2回に分けてマルチ上に散布してください。
- 葉面散布剤を、5月上旬から3~4回散布すると生育・肥大が良くなります。

植付け・管理

- 穴あきマルチ(3415B、9215B)を使用。
- 畦幅140cm、4条植え又は畦幅90cm、2条植え、株間15cmで、発根部を下にして深さ5cmに植え付けます。
- 植付け株数は1a=1900株が目安となります。
- ★管理★**
- 冬季に凍って浮く上がった株上から押さえ直します。分球株は早めに抜き取り1本立ちにする。とう立ちしたら早めに摘み取ります。そのままにすると肥大に影響が出ます。

施肥例 (1a当り)

肥料名	保証成分 %				施肥量 kg (1a当り)	備考
	窒素	リン酸	加里	苦土		
たい肥					400	完熟したものを使用
スーパーユーキ30号	10	10	10		20	三要素の他ホウ素を含む
若土					20	カルシウム補給・土改材
Gセブン				17	3	苦土補給
ヨウリン		20		12	5	リン酸補給。
ホカシ万次郎(追肥)	6	6	3		15	魚かすが原料で即効性。食味・糖度向上
鮮緑				15		葉面散布剤。3~4回散布・500倍で使用
有機バイオ液肥	0.96	0.07	0.94			葉面散布剤。3~4回散布・1000~1500倍で使用